

みんなで
つくる
園の未来!

保育ナビ

6

2024
JUNE
<3/12>

大特集

子ども主体の保育で 持続可能な園へ

— 後編 —

保育の種
子どもの健康を守るために
熱中症

子どもに保育研究を伝える
発達支援・身体活動
「トロい」と呼ばれていた頃の話
～子どもの生活と「不器用」

「人格」を軸とした人事と研修
話した内容は大体忘れる
— 会議のあり方 —

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

Hoiku
navigation

『保育ナビ』が
伝えたいこと

保育業界の変革期、 「子ども主体の保育」を軸に 3年後のビジョンを描こう！

今月は4月号連動大特集の後編。「子ども主体の保育」への改革を行った6人のリーダーが課題から中期ビジョンまでを語りました。「子ども主体の保育」で変化した点、一押しポイントに注目です。「ICT活用」「体験型研修」「園庭環境」「地域との関係」「保育の見せ方」「よく語り合う」「保育者の笑顔」「小学校との交流」「アート」……きっと皆さんの園でも役立つ視点が見つかるはずです。

——『保育ナビ』編集部

『保育ナビ』は、 編集委員がサポート しています。

秋田喜代美 (学習院大学)
浅井幸子 (東京大学)
大方美香 (大阪総合保育大学)
大豆生田啓友 (玉川大学)
北野幸子 (神戸大学大学院)
古賀松香 (京都教育大学)
境 愛一郎 (共立女子大学)
汐見稔幸 (東京大学名誉教授)
砂上史子 (千葉大学)
松井剛太 (香川大学)
無藤 隆 (白梅学園大学名誉教授)
矢藤誠慈郎 (和洋女子大学)
敬称略 50音順

巻頭

フレーベルのことば 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談

リ 駄菓子のように自由な世界を絵と言葉に込め、記憶に残る絵本へ…4

秋田喜代美(学習院大学教授) 長谷川義史(絵本作家)

大特集

子ども主体の保育で
持続可能な園へ —後編— …10

大豆生田啓友

注目テーマ

主 幼保小の架け橋に
「10の姿」で見る小学校の活動…22

無藤 隆

なるほど!
「こども誰でも通園制度(仮称)」…24

秋田喜代美

共創のためのリスペクト型マネジメント
地域の学び合いで
研修づくり・園づくり…26

大豆生田啓友

保育内容

リ 3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び…30

田代幸代

主 0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー…32

井桁容子

チャレンジ!
子どもの姿ベースの指導計画…34

大豆生田啓友 岩田恵子

子どもに保育研究を伝える
～子どもたちへのメッセージ～…38

松井剛太 増田貴人

一人ひとりの感性が輝く
アートな世界…40

足立真知子

密着!
ミドルリーダーのしごと…44

秋田喜代美

保育の種

子どもの健康を守るために…46

認定こども園すなはら

若手育成のための
文章の書き方練習帳…47

浅井拓久也

リ 子どもたちのミーティング
Q&A…48

青山 誠

information…49

国の動き

国の動きを読む!
研究者の目2024…50

大方美香

園経営

園 コンサルタントが読み解く
新時代の園経営2024…52

桑戸真二 柳 修二

園 ビジュアルで読み解く!
園の危機管理
ポイントチェック…54

脇 貴志

人材育成

園 「人格」を軸とした人事と研修
エリクソン ティール組織
東洋思想から学ぶ…56

久保健太

主 リーダー座談会
人材育成 わいわい語り場Ⅲ…60

松山洋平

駄菓子のように 自由な世界を絵と言葉に込め、 記憶に残る絵本へ

魅力的な絵本はどうやって生まれるのか。今回の対談では、生み出した絵本が150冊を超え、絵本ライブなど幅広い楽しさを世の中に届けている絵本作家、長谷川義史先生と、長谷川先生の絵本のファンである秋田喜代美先生が、絵本の魅力や創作の秘密、子どもへの思いまで幅広く語り合います。実は関西出身同士であるお二人の、関西弁も交えた対談となりました。

(対談は2024年2月に実施)

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直そうとする際のきっかけが見つかります。

写真/渡辺 悟

ゲスト

長谷川義史

(はせがわよしふみ)



聞き手

秋田喜代美

(あきたきよみ)



絵本作家。大阪府藤井寺生まれ。デザイン会社でグラフィックデザイナーとして働いた後にイラストレーターに転向。2001年に『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』(BL出版)で絵本デビュー。ユーモラスでおらかな絵本が大人にも子どもにも大人気。

学習院大学文学部教授。東京大学名誉教授。日本保育学会第7代・第9代会長。こども家庭庁「こども家庭審議会」会長、内閣官房こども未来戦略会議委員、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会部会長等、多くの政策にかかわる。

子ども主体の保育で 持続可能な園へ

— 後編 —

4月号では、秋田喜代美先生をお招きした対談(4月号・P5～)で「こどもまんなか社会」の園のあり方、保育のあり方を確認し、併せて、実践トライ&エラー「わたしの園の変革への道」(同・P10～)、リーダー座談会「6人のリーダーによる『持続可能な園』への本気の取り組み」(同・P16～)で、リーダーたちの変革へのプロセスを紹介しました。6月号では、そのリーダーたちが抱く、将来に向けての園経営ビジョンを紹介します。紆余曲折を経て、リーダーたちはどんな決断を行ったのでしょうか。



監修
大豆生田啓友
(玉川大学)



Contents

Part 4 リーダー座談会

3年後、どう考えていますか? …P.11

～6人の園のリーダーの語りから見えてくる保育の近未来～

大豆生田啓友、戸巻 聖、加藤泰和、安家 力、横山和明、上田理恵、中戸華恵

Part 5 事例紹介

子ども主体の保育への園改革 …P.16

・平塚保育園 ・あけぼのほりえこども園 ・別海くるみ幼稚園
・学校法人 くるみ学園 ・めぐみこども園 ・社会福祉法人 協愛福祉会

Part 4

リーダー座談会

3年後、どう考えていますか？ 〜6人の園のリーダーの語りから見える保育の近未来〜



社会福祉法人 協愛福祉会
横山和明
(よこやま かずあき)

平塚保育園
上田理恵
(うえだ りえ)

めぐみこども園
中戸華恵
(なかと はなえ)

別海くるみ幼稚園
加藤泰和
(かとう たいわ)

学校法人 くるみ学園
戸巻 聖
(とまき ひじり)

玉川大学
大豆生田啓友
(おおまめうだひろとも)

あけぼのほりえこども園
安家 力
(あけ ちから)

はじめに

今、保育業界は大きな変革期にさしかかっているのはご存じだと思います。子どもの数が減少し、こどもまんなか社会に向けてどう対応していくか。いくつもの課題に対応しながら、今後、保育の質を高めることと園経営を両立させていくことは、すべての園にとって大きなテーマになると思います。

大豆生田啓友

大豆生田啓友先生(以下、大豆生田)...
この6月号では、中期ビジョンということで、これから3年から5年ぐらい先に向けて、どんな園をつくっていききたいと考えているかがあっていければと思います。まず、戸巻先生、いかがでしょうか。

「まこうせねば」
「まこうすべき」
からの解放を

戸巻先生(以下、戸巻)・・・はい。今、園全体に、こんなことをやったら

「子ども主体の保育」を深める

保育内容 INDEX

30

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び

3歳児1期：保育者との安心できる
関係の中で自己を発揮し始める時期

32

0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー

モノ・ヒト・コトへの繊細なかかわり

34

チャレンジ！
子どもの姿ベースの指導計画

どんな計画・記録の
種類があるんだろう

38

子どもに保育研究を伝える
～子どもたちへのメッセージ～

「トロい」と呼ばれていた頃の話
～子どもの生活と「不器用」

40

一人ひとりの感性が輝く
アートな世界

コラージュ・工作のおはなし

44

密着！ ミドルリーダーのしごと

ちぐさこども園（群馬県沼田市）

46

保育の種
子どもの健康を守るために

熱中症

47

若手育成のための
文章の書き方練習帳

サヨナラ「だらだら」！
言いたいことは1つずつ

48

子どもたちのミーティング Q & A

ステップ3 声を出す

知識を学ぶ

考え方・発想を学ぶ

スキルを学ぶ

「子ども主体の保育」を
深めるために

「子ども主体の保育」を進めるうえで役に立つ保育実践の知識や考え方、発想、スキルについての記事を掲載しています。ご自身や自園の保育に使える部分を試してみる、園内で共有するなど、ぜひご活用ください。

PICK UP!



様々な素材を使いながら、子ども一人ひとりの感性を大切に制作活動を紹介します。今号は、はさみやのりの使い方、身近な素材やいつもは捨ててしまう素材を使って制作します。

PICK UP!



6月号のテーマは熱中症です。暑いからといって部屋の中で過ごすばかりでは、子どもの体温調節機能は育ちません。保育者と看護師の視点を紹介します。

子どもたちのミーティング

Q&A

執筆 青山 誠
(社会福祉法人東香会 保育統括)

ミーティング（サークルタイム）にまつわる Q & A をステップに分けて詳しく見ていきます。
実践に取り組む複数の園の先生からの問いに青山先生が回答します。

ステップ3 声を出す

集まって、絵本の読み聞かせなどを通して、「（おとなの声に）耳を向ける」ができれば、次は、子どもたちにいよいよ声を出してもらいましょう。今回は「声を出す」段階をどう捉え、具体的にどんなことを気に留めておけばいいのかを見ていきます。

今月の質問

声を出すとは？



声を出さって具体的にミーティング場面ではどのようなことを言いますか？



いちばんシンプルで日常的なのは、集まった時に名前を呼ぶ、です。名前を呼ぶことで、おとなのファシリテーションで言う「チェックイン」（その場への参加）にもなります。保育で言えば、その子の機嫌とか体調なんかも把握できますよね。自分の名前を呼ばれて、みんなの前で声を出すことで、仲間であることの確認につながります。



どうすれば定着するの？



ミーティングを重ねるなかでだんだんと子どもたちにも定着してきた様子。「きょう、ミーティング？」などと、自分たちで椅子を並べて座る子どもたちの姿も見られていますが、さらに定着するためには？



ミーティングが定着していくためには日々の中で繰り返し、習慣化していく必要があります。「声を出す」の前に椅子を並べたりして自分たちでその場を整えるのも、自主的な参加につながりますね。

保育者はどのくらい参加する？



「ミーティングは子どもの意見を聞く」とは言うものの、保育者が参加しないと収集がつかなくなる時もあります。「声を出す」段階になるとなおさら気になります。



前段階の「（おとなの声に）耳を向ける」で、絵本を読んでいる時に騒がれたら困りますよね。「声を出す」段階も同じ。子どもそれぞれに声を出してもらいたいのですが、場の全体はきちんと保育者がホールドしている（つかんでいる）必要があります。子どもの声を聞くとは、保育者の存在を消すのではなく、子どもに声を出してもらいつつ、その声を練り合わせること。どの場面においても保育者の役割はとても大きいのです。もちろんそれは保育者が支配的に振る舞うことではありません。



目立たない子も話せるためには？



年長児に、おとなしく目立たない女の子がいます。ミーティングで、その子が自分の気持ちを話せるようになってほしいと思っていますが、声も小さく、ほかの子に隠れてしまいがちです。



子どもによって発言や声の大きさが差がありますよね。ただ、日々の保育の中でも、子どもの「声」って言葉だけではなく、振る舞いや、持っているモノ、着ている服などいろいろなところにあふれています。「言葉で自分を出すのが苦手な子」には、保育者のほうが「今日〇〇くん、こんなことしたよね」「さっき、〇〇ちゃんが折っていた折り紙見せてくれる？」など、その子が表れてくるような投げかけ、拾い方をしてみてください。

ミーティングの10のステップの詳細は
保育ナビ公式ホームページからダウンロード



2024年度も青山先生のセミナーを
開催します。最新情報は →



information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』は SNS や公式サイトでも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報を知るためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト 『保育ナビ』最新刊はもちろん、バックナンバーや
保育ナビブック、特別コラム等の情報をお届けしています。



Facebook 『保育ナビ』のおすすめコーナー、特別コラムの
更新情報などを発信しています。



YouTube 「保育ナビ YouTube チャンネル」では、大豆生田啓友先生に
よる「保育ナビらじお」、保育ナビ編集委員の先生方による
オピニオンなどを配信。



Instagram 編集部からの情報や
保育ナビの注目 Topic をお届けします。



保育ナビ

解説



柳修二
(株式会社 福祉総研)

まずは、しっかりとルールを理解することから始める

国・地方自治体による認可・確認・指定等の制度のもとで行われる教育・保育・福祉・障がいなどの事業については、運営・会計から安全管理などのルールが、通知やFAQ等に定められています。幼稚園・保育所・認定こども園等の事業のほか、他の事業や機能拡充を行いたいという相談が増えてきていますが、地域ごとのこれまでの慣例やそれぞれの経験に基づくもので判断すると、気がつかないうちに基本ルールからずれてしまうこともありますので、通知等をしつかりと読み込み、根拠をもとに園の方向性や

コンサルタントが読み解く

新時代の園経営2024

大きな転換点にある保育業界。今こそ自園の経営を見直す時期かもしれません。園のコンサルティングに長年携わる桑戸真二先生が、毎号「今考えるべきテーマ」を取り上げ、園経営をさらに深く考えたい時のヒントを紹介します。



桑戸真二
(フレーベル館 保育経営アドバイザー)

やりたいことを明確にし、行政との協議を進めていくことがその第一歩となるでしょう。

園経営の形をどうするか悩む時こそ、既存事業の適正化を

今後さらに少子化が進み、園経営が厳しくなる地域が増えますので、4・5月号で学んだ「確実に資金繰りを担保することの重要度も高まります。子ども・子育て支援制度では保育所・認定こども園等の公定価格を定めています。これは

桑戸真二

(フレーベル館 保育経営アドバイザー)

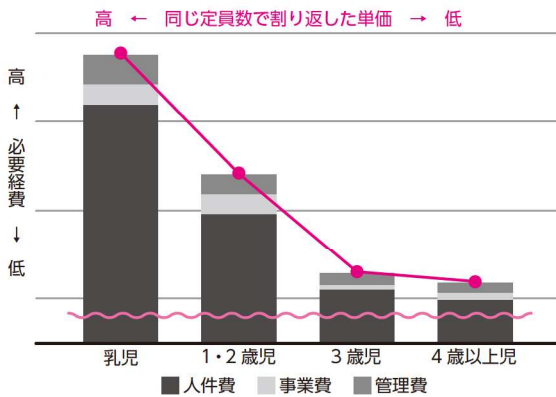
した必要経費以下の支出に抑えていけば、持続可能な園経営ができるということです。場合によっては、利用定員の設定と加算も園の状況に合わせて取得できていることが大切です。

なお、保育所の場合、年度ごとに発出される「私立保育所の運営に要する費用について」の通知に基本分単価の内訳が示されていますので、人件費・事業費・管理費等の指標として活用することができま

利用定員の変更の根拠となる通知とその解釈

利用定員に関しては、平成26年内閣府令第39号の「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」(以下、「運営基準」)や、平成26年9月10日付の「子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給

■ 図1 年齢区分での費用の積算のイメージ



付認定等並びに特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者の確認に係る留意事項等について」などに定められています。

手続き上では、市町村への事前の相談と3か月前までの届出をすれば、実際の利用者数及び恒常的に認可定員を下回る状況にある場合、実際の利用者数及び今後の見込み等を勘案して、当該施設の利用定員の設定（減少）を行うことができます。

この「恒常的」の解釈が市町村によって異なり、2年連続でないと変更させない事例があったり、今後の見込み数が明らかに少なくても定員枠を確保しておく必要があることで、利用定員を下げさせなかったりする場合もあります。これらはすぐに解決につながりませんが、過去2〜3年間の実際の利用者数と、次年度以降の今後の見込数などを園でまとめ、行政と根気強くやり取りしていくことが大切です。

「運営基準」第22条では定員の遵守を基本としつつ、ただし書において、年度中における特定教育・保育に対する需要の増大への対応やその他のやむを得ない事情などの場合、利用定員を超えた受け入れを可能としています。この年度途中の需要の増大への対応が一定程度認められますが、あらかじめ利用定員を超えることが見込まれる場合はその

最大数に合わせる利用定員の設定が求められることもあるため、その点は注意が必要です。その他、保育所等では、小規模保育事業の連携施設として3歳児以降の枠を確保し、利用定員を設定することがあります。定員未充足の場合、過去の連携施設からの保護者の申込数や利用実数などを踏まえた利用定員の見直しを検討してもよいでしょう。

1号と2・3号の利用定員を設定できる認定こども園の場合、1号の入園辞退を想定して多めに受け付けていた場合に辞退者が想定よりも少なければ、利用定員に比べ、1号認定の子どもが多くなることもあります。また保護者の就労状況等の変化によって2号認定の子どもが増え、1号認定の子どもが少なくなることもあります。

認定こども園の場合

令和4年3月23日付の「認定こども園における利用定員の適切な管理について」の通知では、「運営基準」第22条ただし書の補足の解釈を加え、上記の認定こども園ならではの事由に伴う利用定員を超えた運用を認めています。ただ、実際の利用者数が当該利用定員を恒常的に上回っている場合は利用定員の変更が必要となり、また恒常的に上回らなくても、本来適用されるべき公定価格上の定員区分に変更が生じる程度であれば、行政監査時の指導で利用定員の適正化を求められることが注意すべき点です。

許認可等の制度では、関連する通知から正しく読み取り、それを糸口に行政のルールについて、持続可能な園経営の判断と、自治体の協議をすることが大切です。次号では、加算について学びましょう。

(桑戸)

プロフィール●柳修二（やなぎ しゅうじ）／（株）福祉総研 経営コンサルタント。施設長の経験も活かし、保育所・認定こども園等を総合的にサポート。研修講師や保育所・認定こども園等の第三者評価も行う。共著に『保育所・認定こども園のための会計基準省令と賃金運用ルールの実務ガイド』（実務出版（株））。

フレーベル館からのお知らせ

創刊123年の幼児教育研究誌 「幼児の教育」春号が 好評発売中です

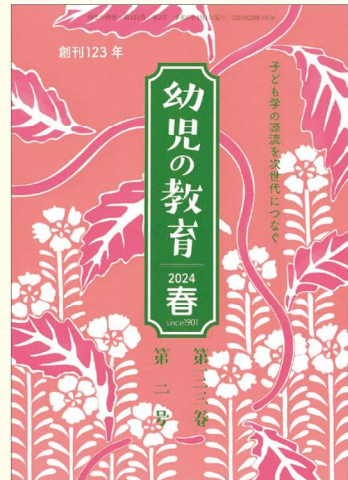
佐藤弘道さんへのインタビューや実践報告等、掲載！

『幼児の教育』は1901（明治34）年創刊の日本で最も長い歴史をもつ幼児教育研究誌です。保育研究者による提言・報告や現場保育者による実践報告等年4回発行しています。

2024年春号では、NHK「おかあさんといっしょ」第10代たいそうのおにいさんの佐藤弘道さんへのインタビューのほか、第一線の保育研究者による提言や現場保育者による実践報告もあります。

「幼児の教育 2024年春号」の内容（一部抜粋）

- 特集** 保育・子ども・私 巻頭インタビュー 佐藤弘道さんに聞く
- 実践** 私の保育ノート 子どもと向き合う中で
- 連載** 保育者と研究者が一緒になって保育を描く Vol. 5
- シリーズ** 子どもが暮らす場所を訪ねて
- 視点** バリ島訪問記
- 探究** 大学コミュニティにおける保育の「場」の多様性



幼児の教育 2024年春号（季刊誌）
編 / お茶の水女子大学

『幼児の教育』編集委員会
価格 / 968円（本体880円 + 税10%）
21×15cm、64頁、年4回発行
商品コード 11212404

『幼児の教育』の購読方法

フレーベル館の代理店・特約店・営業所または、オンラインショップ「つばめのおうち」(<https://www.froebel-tsubame.jp>)からどうぞ。

保育ナビ